

平成28年度 第2回大洲市子ども・子育て会議 要録

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 委員会名 | 大洲市子ども・子育て会議 |
| 2 | 開催日時 | 平成28年11月2日（火） 13時30分～14時40分 |
| 3 | 会場 | 大洲市旧図書館4階会議室 |
| 4 | 欠席 | 1名 |
| 5 | 内容 | (1) 保育所利用定員変更について
(2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について
(3) その他 |

協議事項

(1) 保育所利用定員変更について

事務局説明

事務局より来年度の子ども子育て支援制度における認可定員と利用定員についての変更等について説明。

質疑・意見交換

(委員) 認定こども園である帝京幼稚園は保育部門で35名の定員増であるが利用の見込みはあるのか。

(事務局) 帝京幼稚園は今年度より認定こども園となったが、2号認定については現在でも定員を上回る入所状況であり、充分見込みはある。

(委員) 都市部では保育所に入所できないという報道をよく見かけるが、大洲市ではどのような状況にあるのか。

(事務局) 平成28年度4月1日現在では事前申込数を保育士数などに応じて各保育所に振り分けるなど調整を図り待機児童は生じていない。ただ、その後の転入などによる途中入所に関しては保育士不足の現状もあり0歳児・1歳児などについては待機児童が生じている。

これを解消するために大洲市ではここ数年4名～6名程度の保育士の新規採用を図るとともに臨時職員の待遇改善、ファミリーサポートセンターの活用など

を推進し、今後も出来る限り待機児童が生じないよう努力していきたい。

(委員) 入所希望者が多く見込まれる喜多・肱北保育所の定員が減っているが大丈夫なのか。

(事務局) 今回の変更で定員減となるのは必要保育士数の少ない3歳児以上の定員であり、入所希望の多い0～2歳児クラスについては減らさないことから充分受入は可能である。

(2) 地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

事務局説明

事務局より放課後児童クラブの現状及び新谷児童クラブの定員変更について説明。

質疑・意見交換

(委員) 入会状況を見ると1年生が一番多く、新谷児童クラブでは30%程度を占めているようだが、他のクラブも同様か。

(事務局) 全体的に見るとどのクラブも1年生の割合は20%～40%となっている。一番多いのは久米児童クラブである。

(委員) 27年度から28年度間の定員増の理由を教えて欲しい。

(事務局) 喜多児童クラブの施設拡張により定員増となった。

(委員) 今回、新谷児童クラブの定員増加を図っているが、全体の定員に対して入会者はまだ80%未満となっており余裕があるのでは。

(事務局) 児童クラブの利用は児童の通っている校区のクラブに限られており、クラブの半数程度は定員に空きがあるが、定員を超えた申込のあるクラブについては今後も施設拡張や支援員の増員を図り受入体制を整備していきたい。

(委員) 図書室を利用した読み聞かせなども教育委員会と連携を図り実施してもらえれば図書室の利用率も上がって良いのではないかと考える。

また、クラブの利用について祖父母がいる場合の申込の可否について確認したい。

(事務局) 高齢の方については保育が出来ない理由を確認した上で入会を決定している。

(委員) 台風等の警報発令により休校になった小学生を預かって欲しいという意見を聞くことがある。

(事務局) 児童クラブでは特別災害警報発令時を除いて13時からお預かりしている。

(3) その他

事務局説明

幼稚園の状況について説明

(各委員) 意見なし。

副委員長挨拶後、閉会した。